

みなさんとの架け橋

このページはみなさんの声で作るページです。
議会傍聴者に限らず、議会に対するご意見や議会だよりの感想などもお待ちしております。
メールやFAXでお気軽にお寄せください。

総務委員会を傍聴

本会議とは異なり、様々な意見を言いながら審議していました。税の使われ方が、どのように決定していくのかを知るいい機会となりました。みなさんも、一度は傍聴に行った方がよいですよ。

本会議初日を傍聴

初めての傍聴。議論のない会議でした。委員会で議論していると聞き、次は委員会を傍聴しようと思いました。若い方や女性が議員になってくれて多様な議論ができたと思います。



今回は
6月議会を傍聴された
角崎 敏光さんの感想です。

傍聴、ありがとうございます！次の機会もお待ちしております。
委員会のネット配信も実施に向けて検討しています。



編集後記 お世話になりました ~委員からのコメント~



委員長 久保田 実生

今期は新たなチャレンジの連続！
充実した委員会活動でした。これ
からも更なる活動を！私は一読
者として楽しみです。



委員 永沼 嘉代子

多くの町民の方と交流し、意見を
聴くことができたこと。広報と共
に、私も成長したかな？みなさん、
ありがとうございました！



副委員長 武貞 誉裕

コロナ禍でしたが、色んなことが
学べた4年間でした。関わって
いただいた多くの方に、感謝して
います。



委員 吉木 清文

1期4年間が終わりました、広報
常任委員会で多くの事を学び感
謝しかありません。次の活動に生
かしてまいります。



委員 高瀬 知恵子

この2年間は「光陰矢の如し」で
した。編集計画・紙面割りなどが
終わり、原稿書きと毎日が過ぎ
ました。

今後も
議会だよりに
ご期待ください。



4年間のアレコレ

- 紙面への住民登場数、激増。
- 委員会での広聴活動を実施(3回)。
- 視察の受け入れ(築上町議会)
→対話を取り入れた研修を実施
- 選挙啓発活動の教材になった。
- 編集マニュアルを作成

ご意見・ご感想をお寄せください FAX 82-2869 E-mail:gikai@town.soeda.fukuoka.jp

Fontworks ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
UD Font 見やすいデザインの文字を採用しています。

そえだまち議会だより

こんにちは議会です。

No.176
R4.8月発行



読んでみるん
議会だより

ココみちよってね

聴かせて！読者の想い
町政を問う～3人が登壇～
4年間を振り返って

28
12

こんにちは議会です。 176号/R4.8月発行 ■発行/添田町議会 ■編集/広報広聴常任委員会 福岡県田川郡添田町大字添田2151番地 ☎0947(82)4001 FAX 0947(82)2869 ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp



みんなでつくる

議会だより



これまでの4年間で議会だよりに登場した方々とコーヒーを飲みながら、対話の場をもちました。掲載された反響や、どんな紙面があったらよいかなど、議会だよりに関するご意見をたくさん聴くことができました。



添田産の新鮮な野菜をふんだんに使った食堂を経営しています。

みのりや
ひこさん旬菜坊キッチン農家
たかせ ひでとし
高瀬 秀年さん(167・168号登場)



町の行事や議会のカタリ場など、いつも積極的に参加しています。

カタリ場参加者
つかもと ひさこ
塚本 久子さん(169号登場)



添田に戻って5年、実家の花農家を引き継いでいます。加工花作りが楽しい！

高瀬花園
たかせ ひろと
高瀬 寛人さん(170号登場)



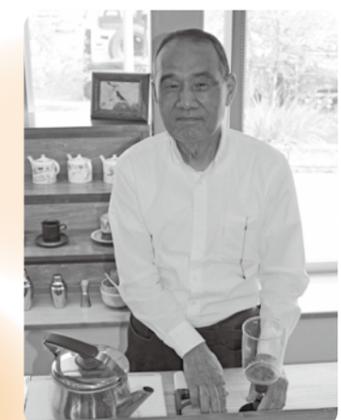
大阪から8年前にUターン。現在英彦山ガーデンキャンプを楽しく運営しています。

英彦山ガーデンキャンプ
ふじかわ とおる
藤川 徹さん(173号登場)



子どもを田舎で育てたいと、家族で添田に戻り、地元で愛されるお店の経営にチャレンジしています。

ふくちゃんストアー
ふくだ ゆきこ
福田 由紀子さん(174号登場)



おいしいコーヒーをいれてくれたカフェ・クロマティックの廣田さん

次のページ、カフェトークスタート



色々な話や案が
でたので、それが
実現できるように
応援しています。



この会議から、
添田愛が芽生えた。
また参加したいです。



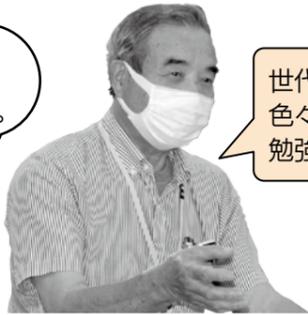
広報紙は、たくさんの
人が掲載された方が、
町民参加で魅力的な
ものになると思う。

トークを終わって

みなさん、
また議会で
遊びにきてね。



ゆずちゃん



世代の違う人と集まり、
色々なことを対話できたので
勉強になりました。

様々なことを話せたので
参加して良かったです。
また参加したいです。



niko and...

みんなの想いをバトンタッチ



今回の対話では、掲載後の反響から、これからの広報紙の編集など、いろいろな話を聞くことができました。
対話での意見は、改選後の新たな広報委員会へと引き継いで、更に町民のみなさまから慕われ、見やすい広報紙となるよう頑張ります。

皆さんがそれぞれの立場で、町の発展や将来を考えていることを強く感じた会でした。

若い方の話を聞くことができ、活気を感じました。添田の未来は明るいと思います。

議会だよりが家庭で話題になるとは！そんな家庭が増えますように♪

たくさんの町民に参加してもらえる広報委員会がいいな。またこんな楽しい交流の場を。

これからも議会の活動が、わかりやすく伝わるような広報紙を目指します。



塚本 久子さん

議員さんの開催するカトリックなどに参加して、町のことも勉強できました。



高瀬 寛人さん

声をかけられたり、商品も売れたので、本当に良かったです。

自分の活動をたくさんの人に知ってもらえました。

見やすい広報紙に掲載されてよかった。内容が充実してきたと思います。



高瀬 秀年さん 藤川 徹さん

ぼくも議会広報の大ファンひこ〜



ひこちゃん

▼構成がよくなった。
▼数少ない町の情報源だと思ふ。
▼もっと多くの人に読んでもらいたい。
▼一般質問のその後も気になる。

その他の意見

お客さんから、声をかけられました。議会広報紙の大ファンで、いつも楽しみにしています。子どもと一緒にみえています。



福田 由紀子さん

町外の人にも読んでもらえるようにしないと。



空き地や、畑のことなど、町の情報なども掲載してはどうでしょうか。



表紙に多くの人を掲載すれば、もっと人がみるのでは？

もう少し町の情報や議会のしくみなどを掘り下げてみては？



多くの人が手に取りやすい場所に置いては？

こんなページもいいんじゃない？

その他の意見
▼子どもには内容が少し難しい。
▼クーポンなどをページに掲載しては？
▼みんなの声を聴ける場所があれば。
▼町のホットニュース。

予算

コロナ対策で生活支援を！

6月議会を6月8日～10日まで開催しました。予算3件、条例1件、契約3件、専決3件の全10件を審議し、いずれも可決しました。一般会計の補正予算では、3億406万円を追加し、総額70億713万円としました。主な事業は次のとおりです。

補正予算の主な事業

事業名	金額	事業内容
①生活応援商品券の発行	9825万円	1人1万円分の商品券を発行。世帯主に郵送。
②プレミアム付き商品券の発行	2000万円	プレミアム分の一部を町が負担。1万円が1万3千円相当。
③コロナ見舞金の追加	1130万円	見舞金の申請状況を想定して、226人分を追加。
④自動手洗い器の設置	193万円	スロープカー、ホテル和のトイレを整備。
⑤自然アウトドアパーク用地購入	1301万円	歓遊舎ひこさん横に、施設を設置するための用地購入費。
⑥子育て世帯生活支援特別給付金	750万円	国の事業として、住民税非課税世帯を対象に給付。
⑦中学校女子トイレの洋式化	225万円	各階の女子トイレのうち1か所ずつを洋式トイレに。

質疑 委員会Q&A

①生活商品券

議員 現金給付は検討したのですか。
課長 貯蓄にまわる可能性もあり、商品券となりました。

③コロナ見舞金

議員 今年度の申請状況はどうですか。
課長 当初は50人の想定でしたが、急増により想定人数を増やしました。

見舞金の金額
● 症状あり 5万円
● 症状なし 3万円

※申請が必要です

④自動手洗い器

議員 他に未実施の箇所はありますか。
課長 多くは実施済み。学校は建て替えがあるので未実施です。

⑦トイレ洋式化

議員 洋式化は各階1つのみですか。
課長 ドアの開閉方向などの問題もあり、各階1か所を洋式化し、洋式トイレが2つとなります。



各階2つに増える洋式トイレ



その他の議案

契約

工事の契約

内容 英彦山スロープカーの車両更新
金額 2億2110万円
相手 株式会社 嘉穂製作所

業務委託契約

内容 自然共生型アウトドアパークの整備
金額 1億450万円
相手 有限会社 パシフィックネットワーク



フォレストアドベンチャー(糸島市)

専決処分の承認

● 国民健康保険税条例の改正

地方税法等に関する法律が国会で改正・公布されました。これにより、添田町でも国民健康保険税条例の一部を改正しなければならなかったため、町長が専決処分(議会に代わって決定)しました。
〔改正の内容〕
国民健康保険税の課税額の賦課限度額を引き上げます。一人世帯で年収1000万円程度の方が対象となります。

賛反 討論

反対 添田町の対象者は少なく、改正の効果は見込めない。賦課限度額の引き上げより、国や県が財政措置をするべきです。
(永沼)

陳情

採択した陳情

● 補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充を求める自治体意見書採択についての陳情



● 保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、職員処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情

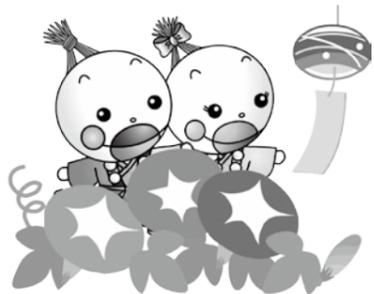


採択した陳情は意見書として関係省庁へ提出しました。

継続審査の陳情

● 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書採択を求める陳情

● 地域医療を守り、医療・介護・福祉、公衆衛生の拡充を求める意見書を国に提出することを求める陳情



賛否が分かれた議案

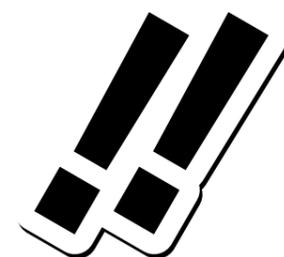
畠田議長は採決に加わりません。ただし、賛否同数時のみ表明し、議案の可否を決定します。

賛成：○ 反対：▲

議案名	議員名	緒方	久保田	吉木	岩本	高瀬	合戸	山本	永沼	武貞	中嶋	小川	白石	畠田
専決処分の承認 国民健康保険税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	-

※表記は正式議案名ではありません ※上記以外の議案は全会一致で可決しました

町政を問う



氏名	一般質問項目※	ページ数
吉木 清文	●ヤングケアラーに対する調査	9ページ
武貞 誉裕	●ふるさと納税の運用は	10ページ
久保田実生	●来年度のクアハウスは ●行財政改革の現状	

※一般質問とは、議員が町長などに町の現状報告や方針などの説明を求めたり、疑問点を質問したりすることをいいます。

- 内容を掲載しています。
- 内容の掲載はありません。動画ではすべてご覧いただけます。

議会・委員会を傍聴しませんか

議会は、まちの予算や身近な問題を話し合う大切な場です。皆さんもお気軽にお越しください。開催日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ 議会事務局 TEL 82-4001 (直通)



吉木 清文 議員
問 ヤングケアラーに対する調査



町長 早期発見のため、町としても対応

吉木 大人に代わって、毎日のように家事や家族の世話をする18歳未満の子どもたちは「ヤングケアラー」と呼ばれています。厚生労働省の調査で、小学6年生の6・5%が「世話をしている家族がいる」と答えています。小学校350校、9759人のアンケート結果では、兄弟の世話が71%と多く、父母、祖父母の世話をしている子どももいました。世話の内容は、見守り、家事、食事の準備、掃除、洗濯、兄弟の世話、送り迎えなどです。半数を超える子どもたちが、ほぼ毎日行なっています。1日7時間の子どものいました。未来ある大切な子どもたちに、支援の手を差し伸べて頂きたいと思えます。

ヤングケアラーの状況が判明すれば、町の保健福祉環境課、教育委員会、県の福祉事務所等で連携を図りながら、支援等対応していきたいと思えます。

世話をする家族がいる割合 (厚生労働省調べ)

小学生 (6年)	6.5% (15人に1人)
中学生	5.7% (17人に1人)
高校生	4.1% (24人に1人)



武貞 誉裕 議員
問 ふるさと納税の運用は



町長 返礼品の増加を目指したい

武貞 ふるさと納税は近年3000万円程度で推移しています。納税額の向上のために、魅力的な商品と合わせて、添田町で体験できる、キャンプ・川遊び・坊めぐりなどの体験を返礼品として、納税額を増やす取り組みをどうですか。

町長 提案の「モノ」と同時に「コト」を返礼品にすることは、添田町の魅力をアピールでき、また関心をもってもらえることだと思えます。現在アイドルグループを活用した体験型返礼品の他、町内業者とも協議して品目数の増加も目指します。

武貞 今後、道の駅遊舎裏にできる、フォレストアドベンチャーや、しゃくなげ荘跡地のキャンプサイトなども可能性があると思えます。納税額の向上のためにも、本町だからできることを進めましょう。

ふるさと納税の推移

令和元年	2,826万円
令和2年	2,900万円
令和3年	2,826万円



体験型の返礼品を

前より45項目増↑

4年間の一般質問



新議員さんも
がんばってひこ〜

ひこちゃん

一般質問とは、教育、福祉、防災など、行政全般に関する様々な問題に対して、議員が町政に対して疑問点を追求することです。
質問により、現行の政策を見直し、新規の政策を採用させるなどの目的があります。
今期議会でも、より多くの議論が活発に行われるように努めていきます。

「一般質問てなに?」

議会で年4回開催される定例会では、議員による「町政を問う一般質問」が行われます。そこで今回は、前任期の4年間に行われた155項目の一般質問を振り返ってみました。

質問分野ランキング

1位	公共施設	22回
2位	学校教育	17回
3位	コロナ対策	12回
3位	交通対策	12回
5位	防災・防犯	11回

質問をみがく
取り組みが
みんなできると
いいわね



ゆずちゃん

質問 風しんの予防接種を受けていない人の対策

接種対象を調査後、接種を進めている

質問 自然を活かしたアトラクションを

フォレストアドベンチャー 令和5年度OPEN

質問 タブレットの導入

令和3年導入

質問のその後

質問 中島家の活用は

令和4年に完成し住民が活用

町長 プールとして継続

久保田 広報そえだ5月号の「町長室」にて、「クアハウスは廃止しません」と町長は述べています。この廃止しないとは、プールとして来年度もクアハウスを運営するということですか。

町長 プールを廃止せずに運営します。福祉施設等の改革推進方針(令和元年11月)では、令和4年度末で用途廃止としていました。

その後、歓遊舎横に自然共生型アウトドアパークが令和5年度に開業する予定となりました。健康志向の町民をはじめ、多くの方が押し寄せることになると思います。
用途廃止の妥当性に大きく影響することから、「福祉施設ファシリティマネジメント検討委員会」を開催し、継続して運営することを決定しました。



来年度もプールで営業

その他の質問
・行財政改革の現状

久保田 実生議員 問 来年度のクアハウスは



動画へGO



久保田 来年度以降の運営について、現運営者に周知しているのですか。また、維持費が約3000万円必要ですが、そのことを踏まえての決定ですか。
町長 来年度の運営は、これから進めていきます。財政的な点は、十分考慮しながら進めています。

小川議員を偲ぶ

小川浩一議員が5月15日、大動脈解離で、64歳という若さで急逝されました。

小川議員は平成26年7月から議会議員となり、2期8年間、熱心に活動を続けてきました。

急逝される前まで、総務文教常任委員長を務めていました。将来有望な小川議員の悲報に、議会も衝撃を受けています。
ここに追悼の意を表します。



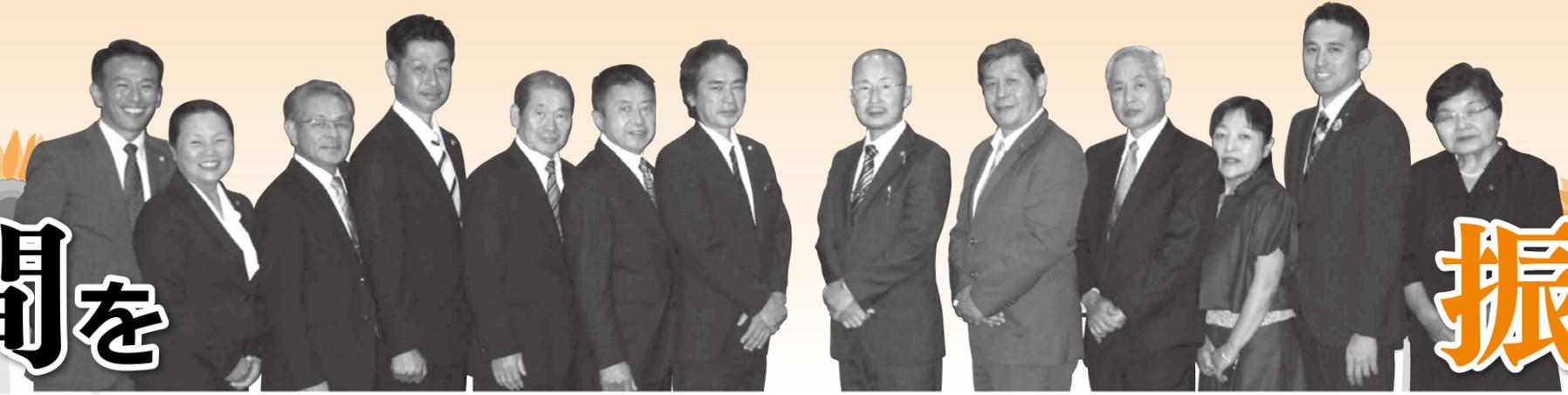
カタリ場で説明をする小川議員

小川議員の一般質問

- クアハウスの廃止見直し
- 街灯の増設とLED化
- 町営住宅のトイレ改修
- 不動川の整備
- 施設の用途廃止見直し
- 教育環境の改善
- 学校統廃合 他

4年間を

振り返って



西脇市の林議長

議会力の向上

この4年間で、総務文教委員会9回、産業厚生委員会9回、議会広報委員会10回の視察研修を行いました。

被災地となった岩手県大船渡市のBRTや、北海道芽室町、また広報コンクール上位の鳥取県大山町など、視察を通じて多くのことを学びました。



BRTを視察(総務)

視察研修

令和元年に議会初となる「住民と議会のカタリ場〜未来会議〜」を開催し、住民との対話の場がスタートしました。その後も継続して年1回、試行錯誤しながら開催してきました。

対話では、多くの意見を聴くことができ、住民と議会の距離も近づくことができましたと思います。

また、対話の技術を上させるための研修会なども行ってきました。

今後も引き続き、住民のみなさんとの対話に力をいれていきます。



対話研修(加留部氏)



100人以上が参加(第1回カタリ場)

対話をスタート

平成30年7月から13人でスタートした議会の任期が終わりました。この4年間で、議会が行ってきた活動を、振り返ってみました。

研修は、コロナ禍のため、オンライン開催でしたが、議会力向上のため、毎年開催してきました。

西脇市の林議長や、法政大学の廣瀬氏からは議会力を向上する必要性の意義を学びました。

議長ノート

5月26日

歓遊舎ひこさん出品者
協同組合総代会に出席



議会の代表として、活動報告をお届けします(畠田)

にぎわい拠点として、頑張っている出品者の皆様に感謝します。コロナ禍で大変と思いますが、今後も新鮮な野菜など地場産品をたくさん提供してください。

その他の活動

- ◆5月31日…町村議会議長会 都道府県会長会(新潟市)
- ◆6月25日…田川地区奨学金合同交付式
- ◆7月 8日…介護保険田川桂川支部運営委員会



4年間の任期のうち、約3年はコロナウイルスにより活動を制限せざるを得ませんでした。その中で13名が1つになって議会改革に取り組みできました。新たな議会でも町のため様々なことに取り組みます。

議会の新体制は9月の臨時号でお知らせします。

まとめ



いろんな活動をしてきたわね
これからもがんばってね

ゆずちゃん

議員定数の変化

改定年度	定数
平成14年	15人
平成18年	13人
令和4年	11人

令和2年7月に議員定数調査特別委員会を設置し、調査を開始しました。調査では、議会で行った町民アンケートや、いろいろな団体と意見交換を重ねました。

半年の調査をふまえ、議員13人の結論は「定数削減8人」「現状維持5人」となり、令和4年7月の改選から「定数11人」に決定しました。



1,000人にアンケートを発送



特別委員会で議論を深めました

議員定数について考えました